



2022  
議会だより

よしか

第62号

# 「春らんまん」



なばなの摘み取り(幸地にて)

▶ 第1回定例会	2	▶ 議決結果	8
▶ 主な新規事業	3	▶ 議会へのご意見	9~10
▶ 主な議案と質疑	4	▶ 一般質問	11~14
▶ 全員協議会・臨時会	5~6	▶ 請願・要望・発議、現地調査	14~15
▶ 六日市病院の経営改善計画	7	▶ 議員勉強会、ジビエ加工場視察、編集後記	16



# 第1回 定例会

《令和4年3月4日～18日の15日間》

一般会計当初予算 **72億8,400万円**

特別会計、上下水道事業会計

**30億4,100万円**

予算総額

**103億2,500万円**

◆ 一般会計は昨年比1.2%増（可決）

## 歳入予算の特徴

### ○地方交付税

・町の歳入全体の49.3%を占め、交付税措置のある公債費の増加や地域デジタル社会推進費の算定等により、前年度比3億2,300万円（9.9%）の増加となる。

### ○町債（借金）

・蔵木小学校改修工事や道路・橋りょう整備、公営住宅整備等により8億2,600万円を借り入れる。

### ○その他自主財源

・その他自主財源のうち、基金（預金）を取り崩して事業に充てる額（繰入金）5億3,800万となる。



一般会計採決時

## 歳出予算の特徴

### ○【目的別】

教育費が蔵木小学校改修工事等により対前年度比2億5,200万円（40.2%）増加している。農林水産業費は林業専用道開設や林道麦山線・滑峠線舗装改良工事等により前年度比1億6,000万円（27.9%）増加している。

### ○【性質別】

補助費等が下水道事業会計への繰出金や地域医療確保緊急対策事業補助金、農産物物流強化事業補助金、米価下落影響緩和支援金等により前年度比2億5,700万円（20.6%）増加している。

# 主な新規事業

## 米価落対策に対する支援

農業経営の安定と水田での営農継続 10a 当たり 3,000 円

## 移動販売事業に対する支援 100 万円

買い物困難地域などへの移動販売経費を支援する。年間燃料費が 20 万円を超える事が要件で 1 台につき経費の 2 分の 1、上限 50 万円とする

## 大腸がん検診自己負担額の無料化

検診に係る一部負担（500 円）を無料化

## 高齢者世帯エアコン等購入助成事業

熱中症事故を防ぐことが目的で 65 歳以上の高齢者一人世帯、また高齢者のみの世帯、世帯全員が住民税非課税の世帯  
エアコン購入、設置費の 2 分の 1 上限が 7 万円 50 件

## 有機農業推進協議会運営資金貸付交付金の申請

有機農業の推進のため吉賀町から運営資金を貸し出す  
実績払いで予定額 940 万円

## 農産物物流強化支援事業

地域農産物を町外に出荷を行う事業者に支援する。町内に事業所を置く法人、団体。町内で集荷した農産物の販売額の一部（6% 以内）

## 蔵木小学校改修工事

築 45 年の蔵木小学校を改修する予算。約 2 億 2,000 万円  
校舎、体育館、プール、仮設校舎（旧蔵木中学校） 工期は令和 5 年 3 月

## 社会医療法人石州会への支援

4 月から六日市病院内に町の医療対策課を設置する  
費用と病院への運営補助に 2 億 3,000 万円  
医療対策課は公設民営化への移行準備の業務をする

# 主な議案と質疑

## 予算案全員賛成で可決

令和4年の一般会計予算は、地域商社、工ボック等の問題をかかえて否決された昨年  
から一転し、全員賛成で可決されました。  
しかし、病院問題、人口の減少など困難な  
課題を残しての出発に変わりはありません。

## 一般会計

### 藤升議員

観光協会の支援をもう少し手厚くすべきで  
ある。

### 企画課長

協会との協議を重ねて吉賀町らしいシステ  
ムを構築したい。

### 村上議員

再生産ができる林業整備の予算を計上すべ  
きである。

### 産業課長

県とも歩調を合わせながら検討していく。



### 庭田議員

集落の課題解決のために集落支援員を増員  
すべきである。

### 教育次長

公民館の体制を整えながら進めていく。

## 賛成討論

### 河村(申)議員

限られた財源で、町民の期待に答えられる  
ような効率的な予算が組まれている。良い予  
算である。

## 環境保全推進協議会の設置条例

カーボンニュートラル・マイクロプラスチ  
ック問題・また、事業者による風力発電も  
計画されている。環境衛生に係る様々な問  
題を、協議検討するために設置する。

### 桑原議員

協議会に対しての諮問や答申はできるのか。

### 税務住民課長

ふさわしいものであれば考えていかなけれ  
ばならない。

### 桜下議員

要請があれば、今計画されている風力発電  
事業なども協議するのか。

### 税務住民課長

そのような組織にしたいと考えている。

## 全員協議会

2月8日、25日と2回の全員協議会が開かれ21の議題が示されました。

なかでも産業課からは米価下落の支援や、みどりの食料システム戦略の活用、農産物物流強化支援事業など農業、地域を守るための積極的な事業が提案されました。

また、職員が築いてきた人脈により、旧「みろく温泉」跡地にイノシシ肉を加工する株式会社・ビー・エーが起業されました。春にふさわしいうれしいニュースです。

### 第一回（2月8日）

#### 令和3年度産米価下落に対する支援

【内容】

令和3年度産の主食米生産者に10a当たり3000円を支援（該当要件あり）

#### 三浦議員

米だけでなく野菜も含めた農業支援が必要である。

【産業課長】

農業を守る活動に積極的に取り組んでいく。

### 第二回（2月25日）

#### 農産物物流支援事業

【内容】

町外に出荷する事業者の販売額の6%を支援

#### 藤升議員

継続性のある事業なのか。

【産業課森下主任】

単年度で終わらせる考えはない。

#### 六日市病院の改善計画

【内容】

公設民営化の可否を判断するため、改善計画の評価をする委員会を設置

#### 中田議員

評価委員会のメンバーは。

【保健福祉課新藤課長補佐】

副町長、課長、医療に精通した人、公認会計士を想定している。

#### 三浦議員

公設民営化を実施するための評価委員会なのか。

【保健福祉課長】

公設民営化は経営改善計画を評価したうえで決めることだ。

そのための委員会設置である。

#### 庭田議員

委員会に丸投げではなく、町の姿勢を強く示すべきである。

【副町長】

考えはしっかりと主張していく。



春の農作業はじまる

## 臨時会

### ▶令和3年12月22日（第7回）臨時会

\*一般会計補正予算（第7号）

【主な内容】

＜子育て世帯への臨時特別給付金＞ 10万円現金給付

（平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた子ども。支給対象に該当される方。）

### ▶令和4年1月24日（第1回）臨時会

\*一般会計補正予算（第8号）

【主な内容】

＜住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金＞ 1世帯当たり10万円

（基準日 令和3年12月10日において町に住民登録がある方で、支給対象に該当される方。）

## 全員協議会

### ▶令和4年2月8日

【主な内容】

＜令和3年産米価下落に対する支援＞ 10アールあたり3,000円

（対象者 要件を満たす農業者及び法人）

＜高齢者世帯エアコン等購入費助成事業＞ 購入及び設置に係る経費の2/3

（在宅で生活する方で、対象要件に該当される方） 上限額7万円

### ▶令和4年2月25日

\*特集 六日市病院の経営改善に向けて

令和3年11月22日全員協議会において経営改善計画への対応が示された

\*町は、令和4年3月に六日市病院から提出される改善計画の内容・収支等により評価を行い、追加支援・公設民営化への準備を進める。

\*病院内に町の医療対策課を設置し、職員の派遣を行う。

### ▶令和4年4月

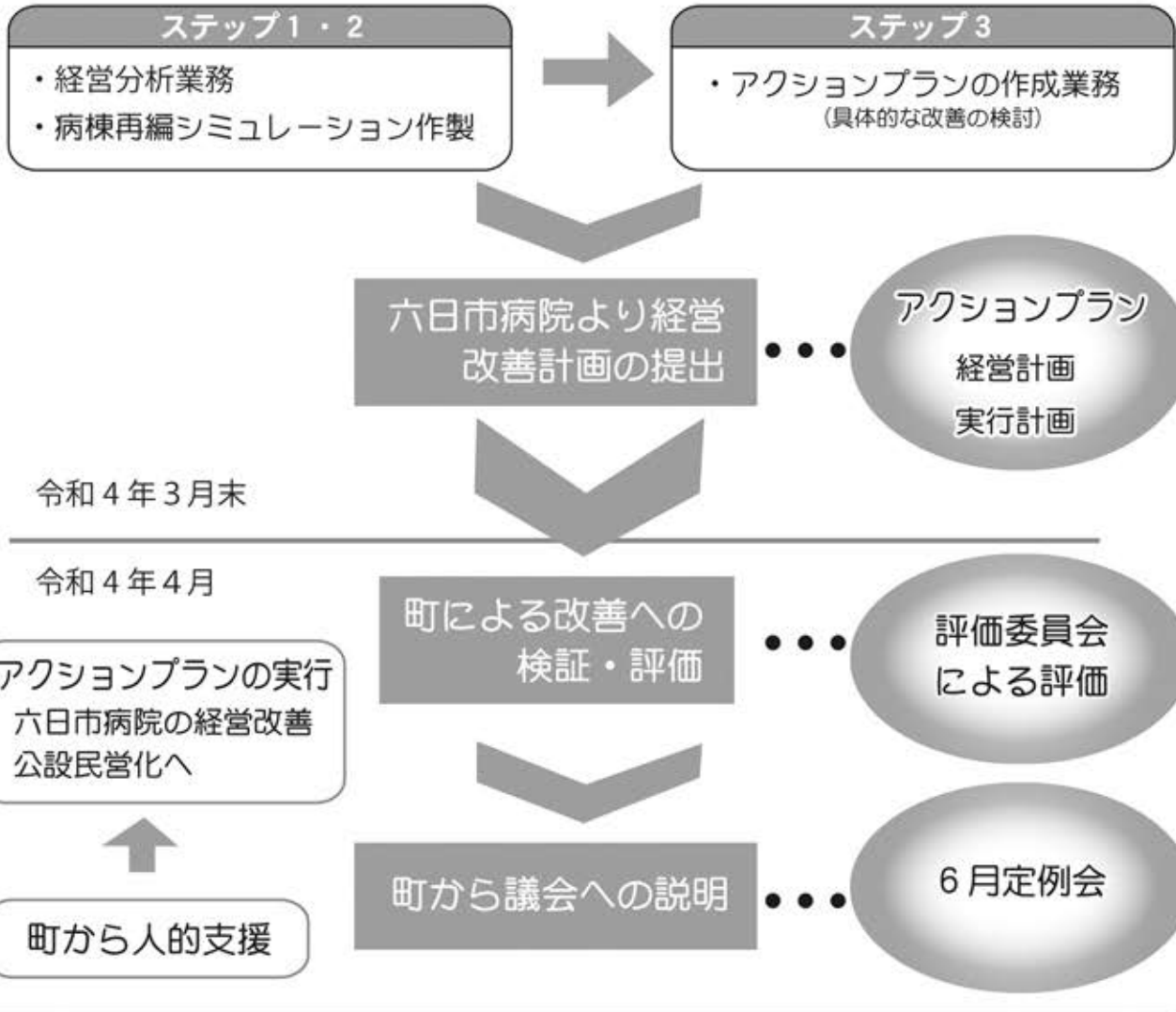
六日市病院経営改善計画評価委員会を設置（令和4年3月中～5月末）

\*改善計画の評価において、長期にわたる病院機能の維持、安定した経営の具体化、および実効性を評価するため。

【今後のスケジュール】 令和4年6月定例会において評価結果の報告



# 六日市病院の経営改善計画の作成



『ロシアによるウクライナ  
侵略を非難する決議』  
提出される

ロシア軍によるウクライナへの侵略に対し、攻撃の停止と撤退を求める決議が、全会一致で可決されました。

## 賛成討論

松蔭議員

私は、この決議案に対して賛成である。今、この時間にもロシア軍によるウクライナへの攻撃が行われている。しかも多くの子どもが犠牲となっており、何もわからぬまま親と引き離される子どももいる。また、子どもたちが入る病院まで攻撃しており、まことに悲惨である。何を考えているのか。

ロシアは、ソビエト連邦時代の夢を見ているのかもしれないが、例えば大義名分があったとしても、人を殺すという行為は許されるものではない。

私たちは、このような残虐な行為がないよう全世界に強く求める。

この決議には大いに賛成であり、即刻提出すべきである。

# 『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
臨時 第1 会回	議案第1号	請負契約の変更(町道唐人屋線唐人屋トンネル補修工事)
	議案第2号	令和3年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)
第 1 回 定 例 会	議案第3号 ～第9号	令和3年度吉賀町水道事業会計補正予算(第2号)ほか特別会計補正予算 6議案
	議案第10号	令和3年度吉賀町一般会計補正予算(第9号)
	議案第11号	益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更
	議案第12号	吉賀町の一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定
	議案第13号	吉賀町成年後見センター運営協議会設置条例の制定
	議案第14号	吉賀町環境保全推進協議会設置条例の制定
	議案第15号	吉賀町下水道事業の設置等に関する条例の制定
	議案第16号	吉賀町課設置条例及び吉賀町議会委員会条例の一部改正
	議案第17号	吉賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	議案第18号	吉賀町職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部改正
	議案第19号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正
	議案第20号	吉賀町公民館条例の一部改正
	議案第21号	吉賀町放課後児童クラブ条例の一部改正
	議案第22号	吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第23号	吉賀町集落排水事業分担金徴収条例の一部改正
	議案第24号	吉賀町防災行政無線通信施設条例の一部改正
	議案第25号	吉賀町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
	議案第26号 ～第32号	令和4年度吉賀町水道事業会計予算 ほか特別会計予算 6議案
	議案第33号	令和4年度吉賀町一般会計予算
	議案第34号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正
議案第35号	吉賀町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例制定	
発委第1号	ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議(案)	
発議第2号	「水田活用の直接支払い交付金の見直し」の再検討を求める意見書(案)	

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第1 回 定 例 会	発議第1号	政党助成制度の廃止を求める意見(案)	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●
	請願第1号	「最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充 を求める意見書」の採択を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●



弱者に手を



大庭 澄人

質問

車に乗れない人や、お年寄りなど、多くの人がバスを利用しているが、バス停までの距離が遠く、高齢者には負担が大きい。途中に休憩所の設置の要望がある。対処できないか。

交通網を検討する

町長

六日市地内への休憩用ベンチは様々な要因があり、設置の予定はない。しかしながら、要望の背景には、高齢者が市街地を移動する上での身体的負担に起因するものなので、六日市地域の市街地循環網の導入を検討することとしている。

看護学校の新設を

質問

町が学園の跡地に高等看護

護学校を新設できないか。卒業後、六日市病院に就職してもらえれば、看護師不足の解消につながると思われる。また、病院の規模縮小という方針を示しているが、運営が厳しいのでは。

新設は難しい

町長

高等看護学校の新設というところであるが、大変な時間と財源が必要であり、現状では難しい。また、六日市病院の経営が厳しいのは周知のとおりで、今ある規模をコンパクトにして、その中で経営を改善していくということであり、現状のままでは改善していくことにはならない。

人口減少によるまちづくり対策は



三浦 浩明

質問

当町の人口も6千人を割り、少子高齢化で「まちづくり」に関わるインフラ整備をはじめ、経済、日常生活での悪影響が出てくると懸念される。

福祉施設の入所状況

町長

は、すでに多くの待機者がおられ、一人暮らしの高齢者も増加傾向にある。緊急時の連絡や交通網等の対策が必要である。以前より問題視されている六日市学園の閉校、六日市病院の経営改善による公設民営化、コロナ感染による飲食店や製造業等の存続に町民は不安を抱えながら日々の生活を送っている。

町としても、これらの人口減少や経済問題

質問

を直視し、あらゆる対策の実践により、将来に向けて安定した体力のある「まちづくり」が必要である。今後の対策、決断を聞く。

第2期総合戦略により展開

町長

人口減少を克服するため、50年後の子供たちが笑顔で暮らせる社会の創造を目指すことを基本理念とした第2期総合戦略の下、各種施策を展開して参りたい。特に産業振興、移住、定住、子育て環境などに取り組むとともに、脱炭素社会、ごみの減量化、再資源化、多文化共生、SDGsの実現など、今後まちづくりの基本となる環境問題にも取り組む。

町としても、これらの人口減少や経済問題

林業振興でゆたかな町づくりを



村上 定陽

質問

吉賀町では昨年より、地域おこし協力隊制度や森林環境譲与税を利用し、森師育成の研修制度を開始しているが、コロナ禍の中ウッドショックにより木材単価(製材単価)が高騰している。

林業振興対策

町長

森師の研修制度は、令和3年度から令和7年度までの5年間を考慮しており、各年度毎に3名、計15名の研修を予定している。木材価格については、ウッドショックは一過性のものであり、一定程度安定した市場価格が続いていかないと全体にバランスの取れた価格にしていることは難しいが、県と協調して取り組みを進め、切っ掛けとして、使うというサイクルを確定させ、町だけでなく流域全体で取り組んでいく必要があると考える。

町民に示すことが、ひいては町全体の治山・治水、防災対策にも大きく貢献するのではないかと。

## 所信表明、施政方針について



河村 由美子

### 質問

「まちを一つに」とこだわり続けて来たが、柿木村住居表示、エポックの多額の負債の押し付け等は柿木の住民に禍根を残した。

また、少子高齢化は進み、地域経済も疲弊の一途である。他町に負けない予算獲得施策を期待する。

### 約束を確実に進める

**町長** 就任した当初から予期せぬ事はたくさんあったが、それを理由にはしない。

今後とも約束している「3つのよし」を確実に実行していく。

許される範囲の中で新規事業も立ち上げ、予算編成に努める。

### 病院の公設民営化について

### 質問

将来の人口の推計を想定し、根幹である六日市病院は、町自体が明確なガイドラインを作成すべきである。

### 医療対策課の設置

### 町長

令和8年度の病棟再編は、地域包括ケア50床、介護療養40床といった構想である。そこに至るプロセスとして医療対策課を設け、経営改善と改革を行う。

## 大井谷棚田について



河村 隆行

### 質問

石垣・水路などが、イノシシによって壊されている。

電気柵等で個々に防いでいるが、大切な文化遺産である。町の対応は。

### 難しい

### 町長

島根県が平成24年度に調査し、発電コストが1.6倍になると試算されているので、厳しいと思う。

### 棚田地域振興法で

### 町長

地域協議会を地元で立ち上げて、保全等について多角的に検討してほしい。

### 新規の水力発電所を

### 質問

高尻川の水を田丸地区に流して、発電したら。



## 生涯スポーツについて



中田 元

### 質問

町長は子供からお年寄りまで誰もが参画できる生涯スポーツの推進に、既存施設の充実を挙げている。「ゆ・ら・ら」のプールの再建・再利用の考えは。

なるが考えは。

②町総合型スポーツクラブの設立と指導者の育成は。

③令和12年国民スポーツ大会でサッカー競技が開催予定だが選手育成や機運の醸成は。

### プールの再開は難しい

### 町長

平成28年度の実績で収入約63万円、支出約1200万円だった。改修費用も約2〜3千万円を要し、今迄の利用方法では再開は難しい。水中運動でなく軽スポーツ運動場などを検討したい。

### 町長

学校、地域団体を含め十分な検討を行う

### スポーツ推進の計画は

### 質問

①令和5年度から中学の部活動は地域へ移行と

③「よしかみらい」をサッカーだけでなく、グラウンドゴルフやニュースポーツなど多目的施設として利用し、町民の機運醸成を図りたいと考えている。

## 国連で採択されたSDGsについて町の対処は



松 蔭 茂

### 質問

2015年9月国連本部で採択された「持続可能な開発目標」SDGsは、国、自治体、企業、教育機関、個人等に共通する目標である。今のままの生活水準で地球資源を使い続けたら2030年には地球は2つ必要と言われている。

### 巨大風力発電所の建設問題

町はこれに関してどのように考え、既に行動を起こしているものはどのようなものか。

### 質問

巨大風力発電所が、町内の一部地域に建設される計画がある。健康被害等深刻な問題が発生すると予想される。町の対処は。

### 風力発電施設等の再検討

### 吉賀町総合戦略で対処

町長 「50年後の子どもたちが笑顔で暮らせるまちづくり」を基本理念として、持続可能なまちづ

### 町長

人体への健康被害等の影響があると想定される、風力発電設備の配置等を意見書として島根県知事へ提出している。



## 男女共同参画は行政から



桑 原 三 平

### 質問

男女共同参画を掲げているが、管理職において女性の登用が少ない。考えと取り組みについて聞く。

### 通告の内容は留意したい

町長 令和7年3月までの行動計画では、管理職に占める女性職員の割合を30%と設定している。現状は10%にとどまっているが、監督の業務を行う職員は7名いる。総合的に判断して管理職に登用していく。男女共同参画のもと、ジェンダーギャップにも取り組み、通告の内容は留意したい。

### 施政方針の風力発電についての記述は

「事業者に地域住民の生活環境や自然環境、生態系等に十分配慮された事業がなされるよう求めていく」とのことだが、意見書の真意について聞く。

### 質問

肯定するものではない

### 町長

今回の意見は、詳細な調査と情報開示、そのことを住民に説明するよう求めたものである。流域全体にかかわる問題でもあるので、成り行きを見守っていく。国策の再生可能エネルギーを否定するものではない。住民の不安や不利益がないよう慎重に対応する。

## 町内業者が入札参加出来る設計を



藤 升 正 夫

### 質問

町が行う2千万円以上の公共工事の一般競争入札で、条件を付け町内業者が入札に参加出来るようにしてきた。

### 町内業者が入札に入れない

吉賀町建設工事入札参加者等選定要領の基本方針は、「町内業者を優先して選定すること」としている。

### 町内業者を優先することは、業者育成、災害や故障など緊急時の迅速な復旧、町内経済の循環、労働収入を得るところの提供など大きな意義があると考え

町長の見解を聞く。

### 町内業者が入札に参加出来るようにする方法はあったか。

町内業者が入札に参加出来るようにする方法はあったか。

### 町内業者入札に入れない

質問 予定価格3259万円、4校の小学校に空調機を設置する工事の入札で町内に本店を置く業者が入っていないかった。

### 町内事業者の入札参加に配慮

町内事業者の入札参加に配慮

### 教育次長

今回の工事を分割した場合は、参加が可能であったのではないかと思っております。

### 町内事業者の入札参加に配慮

町内事業者の入札参加に配慮

町長 町内経済の循環、職場や収入の確保のためにも、町内業者に対して優先



## 六日市学園解体



庭田 英明

### 質問

活用すれば計り知れない効果が生まれたであろう六日市学園の利用に、町の本気度はみじんも見られなかった。町長自らのトップセールスや企業へのアプローチは行われたのか。

### 出来ることは全て

町長 あらゆる可能性を求めて関係機関、団体に足を運び、出来る限りの努力はした。

### 質問

吉賀町のアンテナショップは農産物だけを販売する施設ではない。観光・交流など情報発信の施設として活用すべ

### アンテナショップの多目的活用を

アンテナショップ

### 町長

規則違反、生徒間のトラブル以外は町長の責任。

### 最終責任は町長

### 町長

規則違反、生徒間のトラブル

## 六日市病院の現状と支援について



桜下 善博

### 質問

令和3年度、国と町から約2億1000万の財政支援をしている。コロナ関連の補助金も約1億円、国から交付されている。具体的な経営改善案のない中、無期限で病院長、看護部長、事務部長、事務次長が役職手当の自主返納、更に病院長は給与の半分を自主返納という人件費削減の努力もしている。財政状況の予想を聞く。

### サクラマス交流センター管理体制は万全か

施設で事故や事件が起きた時、学生の命、安全安心を守る責任は誰にあるのか。

### 町長

2月の報告によれば、最終の経常利益は約1億円以内の赤字予想だ。当初の見込み約2億5000万円より1億5000万円の改善が図られる見込みで、給

### 赤字予測

2月の報告によれば、最終の経常利益は約1億円以内の赤字予想だ。

### 町長

当初の見込み約2億5000万円より1億5000万円の改善が図られる見込みで、給

令和3年度、国と町から約2億1000万の財政支援をしている。コロナ関連の補助金も約1億円、国から交付されている。具体的な経営改善案のない中、無期限で病院長、看護部長、事務部長、事務次長が役職手当の自主返納、更に病院長は給与の半分を自主返納という人件費削減の努力もしている。財政状況の予想を聞く。

### 財政支援について

公設民営化に向けて、収支のバランスが必要という条件がある。今後

### 質問

公設民営化に向けて、収支のバランスが必要という条件がある。今後

### 検討する

中期財政計画にも盛り込んでいますが、特別交付税分と、追加支援の1億円を計上している。

### 町長

中期財政計画にも盛り込んでいますが、特別交付税分と、追加支援の1億円を計上している。



## 請願

◆1件の請願を審議し、否決となりました

### 【請願第1号】

「最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

### 提出者

島根県労働組合総連合  
議長 村上 一  
(賛成少数により否決)

## 要望

◆2件の要望が提出され、議員へ配布しました

### 【要望第7号】

母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

提出者 付 偉彰

### 【要望第1号】

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書を提出していただきたく件

提出者 海事振興連盟

会長 衛藤 征士郎 ほか

◇2件の発議を審議し、発議第2号の意見書を国会・政府へ提出しました

▼【発議第1号】

政党助成制度の廃止を求める意見書(案)

【内容】

政党助成制度により、国民は、自ら支持しない政党に対しても強制的に寄付させられることになり、憲法が定める「思想・良心の自由」や「結社の自由」を侵すことから廃止を求めるため

提出者 藤升 正夫

(賛成少数により否決)

▼【発議第2号】

「水田活用の直接支払い交付金の見直し」の再検討を求める意見書(案)

【内容】

地方経済を向上させ、集落の維持、農地を守り、食料供給、国土の保全、水源のかん養、地球環境の保全、文化の継承、食糧自給率向上をすすめるため

提出者 藤升 正夫

(全員賛成 可決)

現地調査を行った場所

- ・町道杉山線落石対策(白谷地内)
- ・真田地区表土集積工事(真田)
- ・河川浄化(上高尻地内)
- ・新横立団地整備(七日市)
- ・スポーツ公園テニスコート照明改修(立戸地内)



↑河川浄化(上高尻地内)



↑新横立団地整備(七日市)

7年間  
ありがとうございました

水落裕之さんが、令和4年3月31日をもって退職されました。7年間という長い間、議事事務局長を務められました。お疲れさまでした。



## 議員勉強会

「脱炭素社会に向けた勉強会を行いました」

3月2日に、地球温暖化に対する取り組みについて、2050年の脱炭素社会の実現に向けた内容を中心に、リモートでの勉強会を行いました。

「国、地方公共団体、事業者における地球温暖化対策の取り組み状況について」

講師 株式会社山陰合同銀行

地域振興部 地域振興グループ

副調査役 中村 英一氏

リモート勉強会の様子



## ジビエ加工工場視察



た。

4月7日、視察に伺い、有害獣としてのイノシシではなく、商品にされることに対してご説明いただき、加工品等について勉強しました。将来的には、60頭くらいのイノシシ肉を使用されるとのことで大いに期待し、加工所の発展と共に、吉賀町が東京都のど真ん中で宣伝されることを喜んでいきます。



旧みろく温泉跡地にできた加工所

東京駅近くの大手町にある「ルックキング・グッド」で吉賀町産のイノシシ肉・野菜・味噌等を使った料理を提供されている石田理恵社長が、この度(株)ジー・ビー・イーを設立され、イノシシ肉の加工所を開設されました。

## 編集後記

定例3月議会が終わりました。年4回開催される議会で、3月議会は、1年間の予算、新規事業を議論する重要な議会です。

昨年の3月議会は、議会史上例の無い、前代未間の当初予算が否決という結果でした。否決の理由は、エポックかきのきむらに對する支援助と、地域商社設立に對する予算が盛り込まれていたのが主な理由でした。(その後、修正案可決)

議会の主な役割のひとつは、予算が適正に使われているか、計画された事業が推進されているかチェックすることです。

審判を受けることも無く改選され、町民の皆様より厳しい意見をいただいておりますが、この声を真摯に受け止め、議会の使命を果たすべく邁進していく覚悟です。

皆様のご意見をお寄せください。

桜下 善博